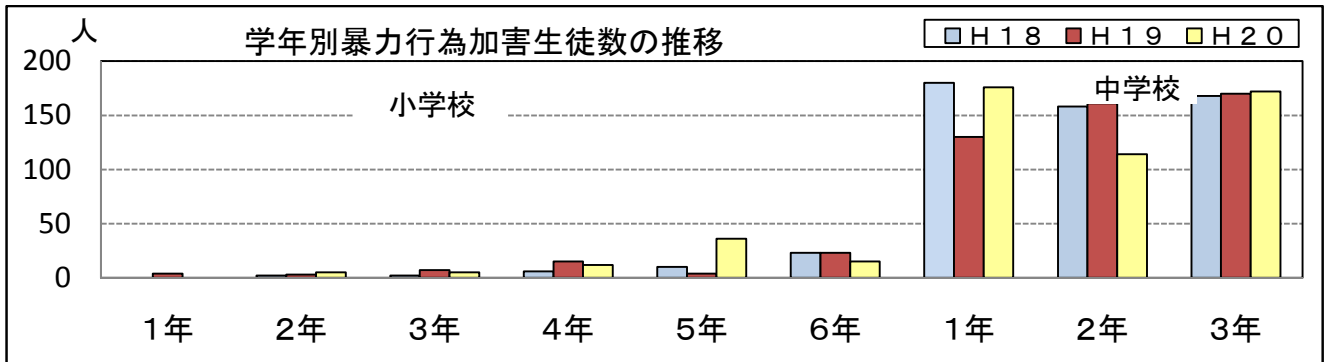


(2) 暴力行為・いじめ・不登校等生徒指導上の諸課題の状況

① 公立学校における暴力行為加害児童生徒数の推移

単位: 人

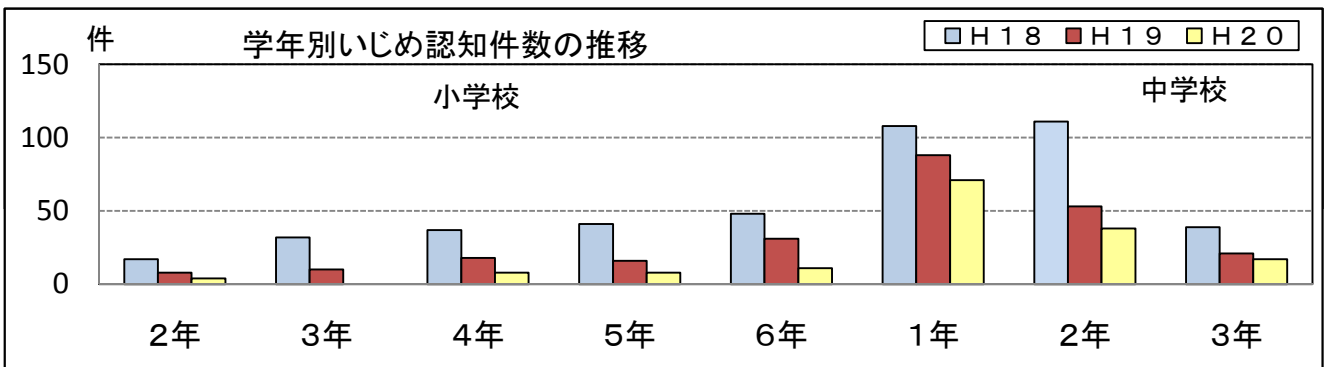
	小学校						中学校			合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	
H18	0	2	2	6	10	23	180	158	168	549
H19	4	3	7	15	4	23	130	161	170	517
H20	0	5	5	12	36	15	176	114	172	535



② 公立学校における学年別いじめ認知件数の推移

単位: 件

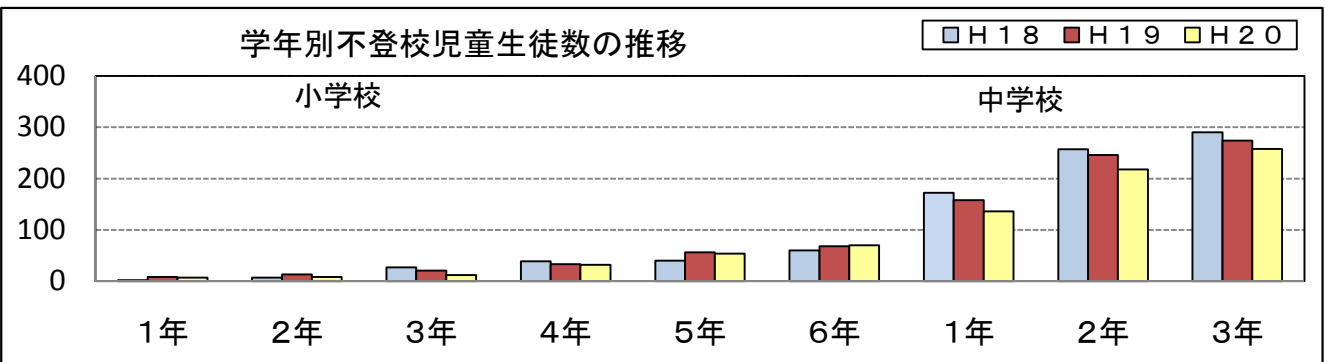
	小学校						中学校			合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	
H18	16	17	32	37	41	48	108	111	39	449
H19	13	8	10	18	16	31	88	53	21	258
H20	0	4	0	8	8	11	71	38	17	157



③ 公立学校における学年別不登校児童生徒数の推移

単位: 人

	小学校						中学校			合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	
H18	2	7	27	39	40	60	172	257	290	894
H19	8	13	21	33	56	68	158	246	274	877
H20	7	8	12	32	54	70	136	218	258	795



暴力行為・いじめ・不登校ともに、中1において急激に増加しているため、小中学校がそれぞれの取組の情報交換を行ったり、課題を共有したりするなどの連携が重要である。

課題としては、子どもたちのコミュニケーション力や人権意識の醸成が不十分なこと、人間関係や力関係の固定化があげられるため、人間関係づくりや人権教育の充実が求められる。

また、安心して学校生活を送れるよう温かい雰囲気のある学級づくりをめざして、創意工夫することが必要である。